榛名神社社報

発行日　平成十四年七月十五日
発行所　沼田市榛名町二八五一
電話(〇二七二)二六五五　(〇二七二)五一二二
発行人　金子浩隆

榛名神社由緒

鎌倉時代、榛名山御師の活動により榛名神社の信仰が広まり、榛名神社が勧請されました。やがて、榛名宮は建長七年（一二五五）には沼田郷総鎮守と崇められ、やがて正応元年（一二八八）春名権現再建立、やがて正応元年、同じく三年、鐘が鋳造され奉納されたという記録があります。

また、一二九八年、上野国神名帳に寶高大明神（武尊様）、薄根大明神（天神様）の名がみえ、また一書に武尊様は九世紀、小野カ山から御神体として石を持ってきて現在の沼田公園内にお祀りしたとあります。

その後、戦国時代となり、沼田万鬼斎顕泰は武尊様の社地に新たに城（倉内城）を建てることを決め享禄三年（一五三〇）上を武尊大明神、中を榛名大権現、下を天満天神として社地に合わせ祀り、社殿を建立。元和元年（一六一五）真田信之公が改築し、現在に至っています。

明治三年、神仏分離令が発令され、榛名大神と改め、明治五年氏子分離の訴訟により、上之町等六ヶ町は須賀神社の氏子に改め、現在の氏子区域となっています。

以後、明治六年郷社に定められ、昇格、戦後は宗教法人となりました。昭和三年縣社に寛政年間に榛名神社の西に遷座せられましたが、明治四一年合祀されました。

当社は、沼田氏・真田氏・本多氏・土岐氏と代々城主の崇敬を受け、数々のご奉納の記録があり、現在も本殿の御扉の上には真田家の家紋である六紋銭が描かれ、また本多正永公御奉献の木造鳥居は、昨年暮れ、補強工事を完了致しました。

榛名神社の神々

榛名神社には三本殿に坐す四柱のご祭神の他、十二柱の神様が鎮座されています。長い年月にわたりたくさんの人から篤く信仰され今に至っております。

御祭神　四柱（はにやまのかみのみこと）

埴山姫命（やまとたけるのみこと）
開運、五穀豊穣、商売繁盛の神様。

倭建命
開運、土地守護、諸願成就の神様。

菅原道真命（すがわらのみちざねのみこと）
学問の神様、厄除け、災難除けの神様。
本年は、千百年祭が全国の天神社で斎行されています。

建御名方神（たけみなかたのかみ）
商売繁盛、交通安全、健康、長寿の神様。

拝社末社
大国主社（大国主神）
商売繁盛、土地守護・交通安全・家内安全・縁結びの神様。

琴平宮（大物主神）
商売繁盛の神様

熊野社（櫛御氣野命）（くしみけぬのみこと）
神祖熊野大神櫛御氣野命　御氣は御食、御木のこと。熊野神社の御祭神

稲荷社（宇迦之御魂神）（うかのみたまのかみ）
須佐之男命の子、食物の神様。特に稲霊。広く生活全体を護る神様。

産泰社（高皇産霊神）（たかみむすびのかみ）
安産、子供加護、諸願成就、万物を産み出す神様。

五柱社
祖御神、伊勢神宮の御祭神。（おおひるめのみこと）天照大御神の別名。皇室の大（大日孁命）
（品陀和気命）（ほむだわけのみこと）応神天皇。八幡様。
（天児屋命）（あまのこやねのみこと）天の岩戸に天照大神がお隠れになったときに活躍、天孫降臨の際も随伴。
（倭建命）
（住吉神）海神。

厳島社（市寸島比賣命）天照大神が須佐之男命との誓約の時生まれた宗像三女神の二番目に成った神。

加茂社（大雷神）雷除け、電気安全、雨乞いの神様。

面美様（めめよしさま）
「携でた手で顔をこすると美人になれる」と言い伝えられている。

榛名神社社務所建替事業について

皆様方からの尊い お心により、七月下旬竣工いたします。

御協賛いただきました皆様、またご協力頂きました皆様に心よりあつく御礼申し上げます。

尚、公的団体のほか、一般の方のご利用も可能です。どうぞ、お申し出下さい。

【完成間近、新築中の新社務所】

知っておこう作法Q&A

Q・御神前に金品をお供えするときに記す表書きの書き方などについて

A・御神前に金銭やお酒などをお供えする際に記す表書きには幾つかの書き方があり、「御神前」「御供」「玉串料」「御榊料」「初穂料」等の書き方が明するまでもあります。「御神前」「御供」という書き方は一般的です。「玉串料」とは玉串や榊の代りに、また「初穂料」とは、その年に初めて収穫されたお米の代りに、それぞれお供えする料であることを意味しております。

この ほか、「上」や「奉納」と書かれる場合もあります。「上」は神様や目上の方に対する御礼の際の表書きに用いられる語です。

「上」はよく神符守札などの授与品や撤下神饌を入れる袋の表書きにも用いられていますが、この場合、撤下品は神前に供えする際「上」と記されの方であって、「上」とはあくまでもお供えをする神様に対して用いられている語と言うことができます。神符守札は御神霊の御加護を厳く尊奉したものなので、丁寧さを表現するため「上」を表書きにしていると考えることもできます。

このほか、神式の葬儀のお供えに関しては「御霊前」や「玉串料」「御榊料」といった表書きが用いられます。「市販の不祝儀袋には「御霊前」とあっても、蓮の花の紋様が付いている場合がありますが、これは仏式用のものなので注意して下さい。

表書きには、神事に用いられる以外にも冠婚葬祭を通じてさまざまな場合があり、自らの気持ちを伝える意味でも大切なものであると言うことができます。

御礼

この度は、群馬県議会議員（沼田市区）補欠選挙にあたり、心強いご支援とご激励を賜り深甚より感謝申し上げます。貴務の重大さを痛感し、皆様のご期待に応えられるよう、一生懸命働かせていただく覚悟でございます。ふる里沼田と県との「パイプ役」として利根沼田の発展のため、二百万県民のため、粉骨砕身の努力をして参ります。

わが心ふる里の誇りと豊かな文化と伝統をしっかりと継承しつつ、未来を担うこどもたちから、高齢者の方まで、皆が笑顔で暮らせる明日の街づくりに邁進して参ります。皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

宮司　金子浩隆